



北海道地方

釧路市の道路改良

北海道釧路郡釧路市では、農山漁村振興事業として、総工費四萬百四圓を投じて左記の市道五線の改良計畫を樹て、市會の議決を経たので、政府に補助の申請をなした。

- (一) 入舟町川岸通り
- (二) 停車場脇川上渡船場通
- (三) 東六線通り
- (四) 辨天濱通り
- (五) 第四火防線通り

雨龍郡雨龍橋の開通

雨龍郡雨龍、妹背手兩村の村界を貫流してゐる雨龍川に架設されてゐた雨龍橋は腐朽甚しく、遂に昨年の大洪水のため墜落し、兩村の交通上に支障を來してゐたので、兩村の有志はこれが架替を北海道廳當局に陳情したところ、同廳當局の容るゝところとなつて、昨年十月、農漁山村災害復舊工事として總工費二萬一千五百餘圓を投じて、架替工事に着手し、爾來銳意工營を怠いでゐたが、今回見事に竣工したので、雨龍、妹背手兩村の主催にて盛大なる開通式が舉行された。此架橋によりて従來の不便は一掃

され、兩村の交通は非常に便利となつた。

函館市の復興幹線街路網

都市計畫北海道地方委員會では、四月十日赤十字支部樓上に於て、函館復興都市計畫會議を開催し、都市計畫地域變更の件等を決定したが、街路網は次の如く希望條件附きで決定した。

希望條件

- (一) 廣路第六號線と一等大路第一類第三號の交叉點に適當なる大きさの公用線地を設けること。
- (二) 官公署は右公用線地に沿ひ西方に作ること。
- (三) 一等大路第一類第一號の起點を招魂社前まで延長されること。

主要街路表

起點	終點	幅員メートル
青柳町	住吉町	五五
船場町	西川町	五五
(豊川町經過)(起點船場町は六一乃至七		

○)

東川町 東川町 五五
 鶴岡町 東雲町 五五
 東雲町 大森町 五五
 若松町 千歳町 五五

(松風町經過)

千代ヶ岱町 砂山町 五五

(的場町經過)

堀川町 金堀町 五五

(的場町經過)

以上八線はいはゆる緑化地帯としての施設をなすもの。

青柳町 東川町 三五
 東川町 東雲町 三六
 東雲町 新川町 三六
 元町 元町 三六
 ◇新川右岸線
 大森町 大繩町 二四乃至三六
 ◇新川左岸線
 宇賀浦町 中島町 二二乃至三六
 ◇松風町金堀町線

地方通信

松風町 金堀町 二五

(宇賀浦町經過)

◇海岸町乃木町線

海岸町 乃木町 二五

(中島町經過)

◇新川町大繩町線

新川町 大繩町 一八

關東地方

東京府下の觀光道路

東京府下淺川町では、峰山公園の新設に伴ひ、甲州街道より同公園に至る觀光道路を新設する計畫を樹て、總工費二千三百餘圓を投じて、本年一月初工し、鋭意工作を急いでゐたが、四月七日見事に竣工した。同觀光道路は延長三百メートル、幅員四メートルにして、觀光客は勿論、同町方面の交通上にも多大の利便を與へるであらう。

東京府下の國道舗装

東京府下淺川町淺川驛前から高尾山下に至る國道八號線は、昭和八年十二月、總工費四千圓を投じて、簡易舗装工事に着手され、爾來鋭意工作を急がれてゐたが、三月三十一日見事に竣工した。同國道工事の竣工によりて、東京より高尾山下までの國道舗装は全部完成されたのである。従つて、東京市内より高尾山への遊覽客は勿論、同地方の交通は非常に便利となつた。

神奈川縣の花水橋

神奈川縣の湘南觀光道路中の平塚、大磯間を連絡する花水橋の架設工事は、一年二ヶ月の日時と總工費十五萬圓を投じて、鋭意工營を急いでゐたが、今回立派に竣工した。同橋は花水川に架設されてゐるものにして、延長は二百四十メートル、幅員は十二メートル、最新ゲルバー式五徑間であつて、シークな姿態を誇つてゐる。

千葉縣の草履ぬぎ橋

千葉縣香取神宮の神橋である津ノ宮地先「草履ぬぎ橋」の改良工事は、島居河岸參道の改良工事に伴ひ、昭和九年一月起工され、爾來銳意工營を急いでゐたが、今回見事に竣工したので、四月十三日盛大なる開通式が舉行された。

同橋は地方語では「ぢよんぬぎ橋」と稱せられてゐるが、昔、經津主命が當時の荒武者を平げて同橋の所在地から香取の森へ上陸し、命は草履をぬぎ靴を履き替へになり、命に従へる者もみな草履をぬぎ、けがれを清めて上陸したといふ由緒ある橋であるが、従來は土橋のため今回これを改良したものである。改良された橋は目もまばゆい朱塗の欄干があつて、小ぢんまりした見えるからに美しい神橋である。

埼玉縣入間道路の改良

埼玉縣入間郡南高麗上畑より下畑を經て

岩淵に至る入間道路は、昭和八年十二月、失業救済土木事業として總工費三千圓を投じて起工され、爾來銳意改良工作を急いでゐたが、今回見事に竣工されたので、四月八日盛大なる竣工式が舉行された。

同道路は延長一千五百七十九メートル、幅員三メートル六十にして、入間郡地方の交通に至大の利便を與へるであらう。

茨城縣下の自動車道路

茨城縣下水戸・大洗間の自動車道路中六反田から涸沼橋に至る道路は既に竣工し、從來の曲線道路は近代的な直線大道路に代り、街路樹プラタナスが美觀を添えてゐるが、昭和九年度に於ては、下市本町から曲手町を經て六反田まで一直線に延長二千四百メートル、幅員十三メートルの道路が總工費三萬六千圓を以て改良される豫定である

尚涸沼川に架設される涸沼橋は、總工費十萬圓を以つて近く起工される豫定である

以上の道路橋梁の改良が完成した曉には

水戸・大洗間の自動車交通は非常な便益を享けるであらう。

栃木縣の道路品評會

栃木縣主催の道路品評會は、昭和九年三月三十一日商工獎勵館會議室に於て舉行され、半井知事より表彰狀並に賞品を授與された。

參加者は青年團、處女會、在郷軍人分會道路保護組合等七十一團體にして、非常に盛會であつたが一等賞を獲得した團體はなかつたが二等以下の、入賞團體は次の如くである。

- (一) 二等落合村保護組合岩崎支部同組合
- 長畑支部(二) 三等須賀川共導會(三) 四等柏尾保護組合、同喜連川町百目貫愛護組合、同國本新里第三區青年會支部(四) 五等篠井小林保護組合外十三組合

東北地方

宮城縣の縣道改良

宮城縣登米町の交通上に非常な重要性を有し東北線田尻驛と連絡されてゐる縣道田尻・登米線の改良は、同郡吉田及び米山の關係ニヶ村と協力して總工費二萬圓を投じて昭和七、八年度事業として起工され、爾來銳意工作を急いでゐたが、今回見事に竣工した。

同道路の完成は、由來交通上惠まれなかつた登米町及び附近町村に甚大な便利を與へるのみならず、登米郡の交通系統を一變せしめ、バス運轉にトラツク輸送にこの新しい道路は今後素晴らしい賑ひを呈するであらうと、早くも沿道筋は活氣を帯びてゐる。

山形縣の橋梁

(一) 本合海橋 同橋は山形縣最上郡八向村最上川本合海渡船場に十五萬圓の工費を投じて架設中のものにして、五月上旬に完工する豫定にして、地元八向村では目下協賛會組織の準備中である。尙ほ同橋は最

上地方と庄内地方をつなぐもので、開通の曉に縣北の交通状態は全く一新されることであらう。

(二) 兩羽橋 同橋は總工費七十萬圓を要した日本三大橋の一にして今年十一月までには完工の豫定である。同橋が開通した曉には最上川下流に一偉觀を添へるであらうが、これが取付道路開鑿費は政府の方針により豫定額十萬圓の半額になつたので、肝腎の橋が出来上つても道路が出来ないため床の飾物になる懸念があつた。そこで縣當局では種々考慮の結果、兎に角縣費を増額しても橋梁工事の完成と同事に取付道路の方も何んとか片をつけて酒田、鶴岡兩市間の直線コースを設けることに決定した。

(三) 鮭川新橋 同橋は最上郡眞室村地内鮭川筋に架設中にして大體下部工事が出来上つたので、近く上部工事に着手の豫定である。

尙、以上の外に昭和七年度災害復興事業として架橋中の左記十三橋は九年度に繰越

されたが、今年中には完成の豫定である。これらの橋梁は鐵筋コンクリートのモダンなもので、完成の曉には同地方の交通に一變化を來すであらう。

黒川橋(東田川郡黒川村) 豊橋(東村山郡天童町) 泉田橋(最上郡萩野村) 新田橋(南置賜郡窪田村) 橋本橋(東置賜郡小松町) 鳥出橋(最上郡東小國村) 新橋(最上郡眞室川村) 荒瀬川橋(飽海郡觀音寺村) 白川橋(西置賜豊田村) 熊野橋(西山郡西山村) 富並川橋(北村山郡大高根村) 下柳澤橋(北村山郡高崎村) 白銀橋(北村山郡玉野村)

東山地方

山梨縣の登山道路

山梨縣の最高峰である大菩薩峠は、登山が容易であり、甲信より秩父の連山を一望に集めて眺望が絶佳であり、中央線の便が

良いので東京方面より日歸り登山として適當である等の好條件に恵まれてゐるので元の神奈外一町一村の思賜林組合では、砥山から左右へ延長四千五百十一メートル幅員二メートルの登山道路を新設する計畫を續て、昭和八年十一月起工し、爾來銳意工作を急いでみたが、今回立派に竣工した。これによりて、大菩薩峠への登山は非常に便利となりて一層登山客を呼ぶことになるであらう。

岐阜縣岐笠國道の明粧

岐阜市と笠松町とを結ぶ岐笠國道は、岐阜と名古屋を聯絡し、且つ東海道と中仙道を繋ぐ幹線國道十二號路線にして、昭和七年八月總工費五十萬圓を投じて起工し、爾來銳意工作を急いでみたが、昭和九年三月三十一日見事に竣工したので、四月十六日同路線荒田橋上に於て盛大なる竣工式が舉行された。

同國道は羽島郡柳津村大字大池を起點と

して、加納町大字柳町に至る延長四千四百八メートル、有效幅員十二メートルの道路にして、昭和七年度の工事區間であつた二千五百メートルの道路はアスファルト・モルタル舗装であり、昭和八年度の工事區間であつた一千六百メートルの道路は瀝青乳劑とコンクリートの簡易舗装であるが、荒田橋加納間はコンクリート舗装にして、プラタナスの並木を配し、明朗な美觀を呈し、美笠橋、境川橋、荒田橋、柳橋の四橋はラーメン式ゲルバー鐵筋コンクリート桁橋にして、スマートな橋體を誇り、明粧なつた國道に一層光彩を加へてゐる。

會川橋及び今尾橋の架設設計畫は今回愈々實施されることになつた。木曾川橋は岐阜縣羽島郡笠松町から愛知縣の木曾川町に至る橋梁にして、昭和八年度に架替へられる豫定のところ、國庫補助の關係から實施に至らなかつたものであるが總工費七十萬圓の内、十五萬圓は昭和九年度國庫補助として交付されることに決定したので、縣當局では既定方針に依り五月上旬起工することとなつたものである。同橋の延長は四百メートル、幅員は九メートルであるが、九年度にはこのうち三分の一程度の工事が行はれる豫定である。今尾橋は、岐阜縣海津郡今尾町より養老郡池邊村に至る楯斐川に新に架設されるものにして、總工費二十二萬圓を要する延長三百四十一メートル、幅員四メートル餘の大橋である。

岐阜縣の木曾川、今尾兩橋の起工

岐阜縣に於ける多年の懸案であつた、木

東海地方

静岡縣の組合道路

静岡縣引佐郡奥山村門前より同郡三ヶ日町岡本に至る組合道路は、途中で風越峠の難所があつたために、工事の進捗が大いに阻止されてゐたのであるが、今回立派に竣工したので、四月十五日風越峠の町村境に於て盛大なる竣工式が舉行された。同道路の改良工事に要したる工費は五萬圓にして延長八哩五分、幅員三間であるが、同道路は近く縣道に移管される豫定である。

愛知縣新城町土木工區

道路愛護共進會

愛知縣南設樂郡新城町土木工區管内の第七回道路愛護共進會は、三月三十一日午前十一時から元郡役所樓上に於いて開催されたが、被表彰者は次の如し。

(一) 團體の部

- 三等、八名郡山吉田村少年道路愛護會
- 四等、北設樂郡北下川村市場少年道路愛護會

護會他六團體

五等、北設樂郡振草村青年團他二團體

(一) 修路工夫の部

- 一等(賞金十五圓) 高見修一、篠徳一
- 二等(賞金十圓) 中川虎一、齋藤忠三郎
- 伊藤定吉、夏目彌十
- 三等(賞金五圓) 原田久吉他七名

愛知縣當古橋の竣工

東海道の副道として重要な交通路である府縣道豊川氣賀線中の豊川筋に新設中の當古橋は、豫てより愛知縣に於て施工中であつたが、今回竣工したので、其の式典が春漸く開はならんとする三月二十六日、起點寄りの橋詰で厳かに舉行せられた。

此の日午後一時係員の先導にて參列員一同着席、神事に次て小坂道路課長の工事報告、三邊知事の式辭(川越土木部長代讀)、加藤縣會議長其の他來賓の祝辭、祝電があつて、式は滞りなく終つた。引續いて行はれた恒例の渡り初めには、地元の賣飯那豐

川町八名郡石卷村兩町村七十歳以上の高齢者三百餘名を以つて慣例の三夫婦に代へると言ふ從來の型を破つたもので、之に地元協賛會員小學校児童等三千數百名の參加があつたので極めて盛大なものであつた。

新橋は昭和七年十二月工事に着手、爾來一年三ヶ月の日子と十五萬七千五百餘圓の工費とを要したもので、型式は鋼製二鉸拱橋三連單鋼板桁八連で、延長は三百四米餘、其の有効幅員は五米五十糎である。橋脚は十基で基礎は夫々地質に應じ、鐵筋混凝土井筒或は杭打工を又橋臺は扶壁型鐵筋混凝土造にして基礎には杭打工を施した、橋床は厚十三糎半の鐵筋混凝土床板として、橋面はアスファルト・ブロックを以つて鋪裝し、之に使用した主用材料は鐵材四百六十五噸セメント一萬六千袋に達してゐる。

三重縣の船木橋

三重縣多氣郡三瀬谷村佐原と同縣度會郡

踏切を人目につき易い所に變更中であつた

瀧原村船木とを結ぶ指定府縣道津木本線に架設中の船木橋は、總工費四萬四千圓を投じて、昭和八年十一月起工され、爾來銳意工作を急いでゐたが、昭和九年二月末に見事に竣工した。

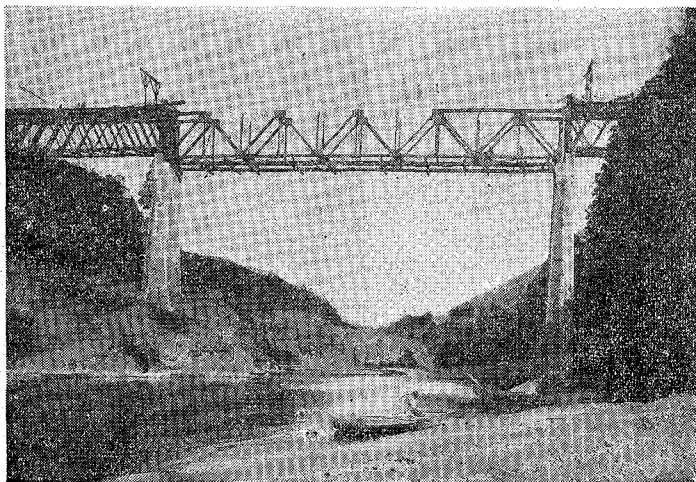
同橋は延長九十メートル、幅員四メートル五〇にして、橋面はコンクリートにて鋪裝され、橋臺は在來の橋臺を鐵筋コンクリートにて包覆補強され、橋脚は在來のものを鐵筋コンクリートにて繼足補強されたものである。

近畿地方

滋賀縣の新道路

滋賀縣神崎郡八幡村垣見地先（東海道線稻枝・能登川間）の踏切は、死靈が呼ぶ魔の踏切として恐れられてゐたが、昨春以來縣當局が同踏切を結ぶ上太光寺路線を時局匡救事業として改良し同

が今回立派に竣工したので、四月七日盛大



なる竣工式が舉行された。

同道路は延長約二哩、幅員二間半にして、總工費は一萬餘圓を要したる堂々たる近代的明粧を施されたものであるが、同道路工事の完成によりて、同地方の交通は非常に便利となり、魔の踏切も變更されたので地方の不安も取除かれるであらう。

京都府の道路鋪裝

京都府與謝郡天の橋立の玄關口の道路鋪裝工事は、昭和八年十一月初旬、總工費一萬八百圓を投じて起工し、爾來銳意工作を急いでゐたが、冬季の猛雪に工事を阻止され遅延中であつたところ、今回見事に竣工した。これによりて、驛前、智恩寺前の兩道は坦々たるシートアスファルトの美裝となり、都の遊覽客を迎へても恥しくない鋪裝が出来上つた。

尙ほ奥丹後ではアスファルトの道路鋪裝は

これが最初である。

兵庫縣の自動車道路

神戸裏山のドライブ・ウェイはどんく
と山深くのびつゝあるが、このドライブ・
ウェイの起點ともいふべき山本通四丁目の
移住教養所の裏手、城ヶ口墓地への入口の
東側、堂徳山の腹を切り抜くトンネルが愈
々今回見事に竣工した。同トンネルは延長
百メートルにして、夏になれば神戸唯一の
避暑地となるであらふ。而して自動車道路
はこのトンネルを抜けて諏訪山の中腹を一
週し、鑑山の裏に出てゐるが、鹽ヶ原に至
る工事も近く完成の豫定である。

兵庫縣尼崎市の交通訓練

兵庫縣尼崎市の尼崎署では、四月十六日
より十九日までの四日間を一般大衆の交通
訓練デーとして、無事故を目標とすると共
に、一般大衆の交通訓練を行ふた。それに
よると、先づ第一日は輪業組合の奉仕で赤

地方通信

釋自轉車隊八十名が自轉車通行の模範示威
行進を行ひ、杭瀬及難波の二ヶ所では通學
兒童の國道横斷實地訓練を行ひ、第二日は
青少年團員の出勤を得て、通行人に宣傳ビ
ラを撒布し、管内各小學校四年生以上に交
通標語を印刷した吸取紙八千枚を配布し、
なほ安全週間に因んだ作文や圖畫を描かせ
たり、同期間中、各興行場では交通標語を
掲出し、警官搭乗の樂隊自動車も繰り出し
たが、本年は新しい試みとして、署員が
主要十字路に立つて手信號を行ひ、一方ダ
ンス・ホールでも交通安全歌を取り入れて
色彩の異なつた安全週間の夕べを催した。

大阪府下の改良された

府道

大阪府土木部岸和田出張所では、昭和八
年度農村振興土木事業として、豫ねて、直
營にて府道七路線を改良中であつたが、今
回見事に竣工した。その府道七路線の内容
は左の通りである。

- (一) 日根野、田尻線(上之郷―日根野村)延長四七三メートル、幅員四メートル、工費六、四四七圓
- (二) 鳳佐野線(貝塚町)延長九〇九メートル、幅員七メートル一四、工費六三、五圓
- (三) 牛瀧岸和田線(山直下―八木村)延長一、一七七メートル、幅員七メートル一七、工費三二〇圓
- (四) 塔原岸和田線(有真香村)延長三、九四メートル、幅員五メートル半、工費六、一四九圓
- (五) 大土岸和田線(熊取村)延長三、三三メートル、幅員四メートル半、工費四、八五二圓
- (六) 樽井岩出線(東信達村)延長三、二五メートル、幅員四メートル半、工費六、七六圓
- (七) 塔原岸和田線(有真香村)延長六、〇五メートル、幅員五メートル半、工費一三、四〇一圓

大阪府の道路品評會

大阪府では、交通の生命線たる道路の愛護と改良に資するために道路品評會を毎年開催してゐるが、今年は、三月三十一日府廳に於て開催された。當日道路愛護の成績優秀なるものとして表彰されたもの左の通りである。

- (一) 泉北郡横山村、豊能郡西能勢村、泉北郡上神谷村、三島郡見山村(賞金各々三百五十圓づゝ)
- (二) 泉南郡南播守村、南河内郡河内村、泉南郡淡輪村、北河内郡九ヶ莊村、中河内郡堅上村、豊能郡田尻村(賞金各々百五十圓づゝ)
- (三) 泉北郡北池田村、泉南郡西葛城村、南河内郡川上村、同黒山村、泉北郡北上神村、同西陶器村、豊能郡歌垣村、三島郡石河村、同清溪村、北河内郡巖屋川村(賞金各々五十圓づゝ)
- (四) 北河内郡招提村、南河内郡加賀田村、

豊能郡東能勢村、泉北郡深井村、三島郡豊川村、北河内郡水室村、中河内郡(賞金各々三十圓づゝ)

大阪府下の新道路

大阪府北河内郡安芸崎村字木屋より京阪香里驛北の府道牧方・八尾線に結ぶ三キロメートルの新府道は、今回竣工したので、地元有志は「此の機會に同道路の兩端に櫻樹一千本を植ゑたい」と牧方府土木出張所に申出た由である。

奈良縣の前鬼橋開通

奈良縣當局が、總工費一萬八千圓を投じて、吉野郡上、下兩北山村の境界を流れてゐる前鬼川に架設中であつた前鬼橋は今回見事に竣工したので、四月十日盛大なる開通式が舉行された。

同橋は延長四十四メートル、幅員四・六メートルにして、鐵筋コンクリート・アーチ型である。

奈良縣の道路愛護團體

奈良縣當局が、激ねてより、「道路を愛せよ」と聲を大にして道路愛護思想の涵養に努めてゐたが、昭和九年四月より實施される縣道路愛護規定に基く愛護團體が續々組織されるに至り、縣土木課に申込まれた團體数は二百三十九に達し、その團員数は二萬九千餘人の多きに上つた。然も、その愛護さるる縣内國府縣道の總延長は一千二百餘キロメートルに對し約七割五分の九百二十二キロメートルに及び、これら團員が一人一ヶ月間一日づゝ道路修理に出場するとしても現在の縣修路工夫百餘人に比し、約十倍の人員が道路維持修理に當るわけであるから、道路の損傷に心を痛めてゐた縣當局では、その活躍に大きな期待をかけてゐる。

中國地方

鳥取縣の林道

鳥取縣では、八年度匡救事業として總工費十四萬五千二百八十二圓（内九萬七百二十五圓は農林省補助）を投じて村道開發工事を實施したが、今回殆んど全部の完成を見た。この工事によつて開發された林道の總延長は六萬三千九百五十一メートルであるが、その内際には、車道四萬七千二百四十九メートル、牛馬車道八千二百八十七メートル馬道八千四百八十八メートルにして、この林道によつて利用開發さるべき山林面積は實に一萬四千四百ヘクタールである。

鳥根縣の雪舟橋

鳥根縣當局が總工費六千百圓を投じて、三ヶ年繼續事業として昨秋着工した雪舟橋は、爾來銳意工作を怠いでゐたが、今回見事に竣工したので、三月三十一日盛大なる開通式が舉行された。

同橋は延長五十二メートル、幅員三メー

トル五〇、橋脚三本の鐵筋コンクリートのモダン橋である。

岡山縣津山・倉吉線の竣工

岡山縣と鳥取縣とを結ぶ作北唯一の幹線道路にして産業開發上縣下の重要路線である縣道津山・倉吉線の第二期改良工事は岡山縣吉田郡小田村大字小座縣道分岐點より以北同村塚谷に至る延長三千メートル幅員六・五メートル及び同郡久田村大字鳥越峠の一部を總工費五萬餘圓を投じて、昭和八年七月下旬起工し、以來銳意改良工作を急いでゐたが、今回見事に竣工した。これによつて第一期工事の分を合せて總延長六千八百九十五メートルが完成したこととなるのである。該工事により使用されたる地方労働者の延人員は九萬九千人であるが、早くも産業道路として大いに利用されてゐる。

尙、本年度工事は引つゞき同郡久田村地内から鳥越峠を避けて吉井川に沿ひ山陽水

力電氣の舊水路邊を昇り久田發電所上に至る約三千五百メートルを近く改良する豫定である。

岡山縣の交通安全デー

岡山縣保安課では、五月五、六、七の三日間を交通安全デーとして、全縣下に亘りて交通慘禍の防止に努めることとなつた。これがために色々の宣傳を行ふ一方、今回は街頭で一般民衆特に路行く人々に向つて通行方法を實地指導すると共に、自動車其他の諸車に對しては右抜き、左抜きを初め優先通行の危険を指導防止し、交通信號を勵行嚴守せしめ、特に交叉點上の交通道德を嚴守せし由である。

廣島縣下遊覽道路の改良

廣島縣賀茂郡廣村觀光協會では、同村二田瀧（佛生瀧）を中心に附近十五瀧及び二瀨峽から白糸瀧に至る溪流美宣傳に當り、先づ遊覽道路の改良に着手し、連日十數名

の石工、土工を役使して鋭意工作を急いでゐたが、工事も大いに進捗し、従來一般來遊者の到底見ることを得なかつた男瀧、渦瀧、霧瀧なども比較的容易にその奇勝に接することをを得るに至つた。現在では、二級瀧附近のみの道路が改良されてゐるが、更らに進んで二瀬瀧・二級瀧間、二級瀧・白糸瀧間も大いに改良される豫定である。

四 國 地 方

徳島縣の半田高橋の開通

徳島縣の縣道徳島・池田線中に美馬郡半日町半田川に架設中であつた半田高橋は、總工費一萬六千圓を投じて昭和八年十一月起工し、爾來鋭意工作を急いでゐたが、本年三月末日に見事に竣工したので、四月十六日盛大なる開通式が舉行された。

同橋は上路式鋼鉄鐵筋コンクリート橋にして、流れ清く風光明媚な半田川に雄大な姿を誇つてゐる。

香川縣の櫻町道路新設

香川縣金刀比羅參拜道阪町中腹より神苑に通ずる新道は兼ねてより鋭意改良工作を急いでゐたが、今回見事に竣工した。

同道路は延長三十二間、幅員二間にして、金刀比羅神苑に至る捷路であるが、櫻町道路と命名された。

高知縣の縣道七里與津線

高知縣の縣道七里與津線は、大正十一年總工費五萬數千圓を投じて起工したものであるが、中途郡制廢止等のため工事の頓挫を來してゐたが、昭和三年度から復活起工し、鋭意改良工作を急いなので、今回見事に竣工した。

同道路の延長は十四キロ九百五十四メートルにして、途中には小室の瀆の小袖貝一本松の展望、夫婦岩の夕景等の絶景が點在してゐる。尙、この道路の竣工によりて、起點たる東又村から與津への自動車交通は

可能となり産業上並遊覽客に甚大なる便益を與へるに至るであらふ。

高知縣下の匡救道路

高知縣下に於ては時局匡救事業として道路の改良が盛に行はれてゐるが、今回竣工したものは左記の通りである。

(一) 野市町の匡救道路 この道路は時局匡救事業として昭和七年、總工費一萬六千圓を投じて起工したものであるが、三月三十一日竣工し、四月廿一日盛大なる開通式が舉行された。同道路は佐古吉川兩村を結ぶ延長二千三百八十五メートル、幅員三・六メートルの佐古吉川線である。

(二) 池川町の匡救道路 同道路は吾川郡池川町の道路にして、従來狹隘にして急傾斜してゐたため、産業上は勿論教育兒童の通駕等に非常な不便を感じしめてゐたが昭和八年十一月時局匡救事業として、池川町西谷相の谷兩區同時に起工し、西谷區は延長二百間、幅員八尺の道路を、桐の谷區

は延長五百四十間幅員七尺の道路を區民の共同一致を以て多大の工夫と金品を投じて鋭意改良工作を急いでゐたが、今回見事に竣工したので、三月三十一日盛大なる竣工式が舉行された。

(三) 長濱・仁西線道路 長濱町より諸木村・秋山村甲殿を経て同郡仁西村に至る長濱・仁西線は、時局匡救事業として關係各町村が改良工事に着手したものであるが今回見事に完成した海岸道路である。

(四) 清水村の匡救道路 吾川郡清水村が時局匡救事業として改良工作を急いでゐた土居程野嶽は、今回見事に竣工した。又日比原馬路線の延長六千メートル道路も今回見事に竣工した。

高知縣下に開通した諸橋梁

高知縣下に於て時局匡救事業として起工され今回見事に開通した橋梁は左記の如くである。

(一) 藥師橋 本橋は高知縣長岡郡西豊

永村省線大田口驛と國道藥師參道口大田口間を連絡する延長百二十二メートルのものにして、昭和八年十月、二萬五千圓の匡救費と小笠原花末氏外地元篤志家の寄附金二千圓を合して總計二萬七千圓を投じて、同橋の附屬道路延長百六十八メートルと共に起工し、爾來鋭意工作を急いでゐたが、三月三十一日竣工したので、四月三日盛大な開通式が舉行された。

(二) 本山大橋 本橋は、本山町多年の懸案たりしものであつたが、昭和七年度の時局匡救事業として、架設工事に着手され爾來二年の日子と二萬七千圓の工費を以て、鋭意工作を急いでゐたものであるが三月末日に竣工したので、四月十三日盛大なる開通式が舉行された。

(三) 上八川川橋 本橋は吾川郡三瀬村と明治村とを結ぶ橋梁にして、時局匡救事業として起工し、以來鋭意架設工作を急いでゐたが今回見事に竣工したもので、四月一日盛大なる開通式が舉行された。

(四) 添地橋 本橋は香美郡夜須村添地部落が昭和八年度時局匡救土木事業として昭和九年十一月起工したもので、三月三十日見事に竣工したので、四月三日盛大なる開通式が舉行された。

高知縣鏡村團體の道路修理

高知縣の縣道弘瀬村伊野線中の鏡村増原梅ノ木小山の各部落に通ずる道路は、修路工夫手うすのため路面の凸凹甚だしく、最近は山崩れなどおびたゞしく、ために道路の荒廢甚しく、縣當局もこれが修繕に腐心しつゝあるも財政の關係上直ちに修繕の困難なるを思ひ、關係沿道増原梅ノ木葛山小山の四部落の在郷軍人團、青年團、婦人團、處女團等協議の結果、奉任の事業として修理を行ふの議を取纏め、土木出張所の諒解を得て、四月三日四團體の團員百三十名が鏡第四尋常小學校に集合し、修理個所を十區に分ち、工事の難易に應じ、人員を

配置し、各區に班長を置き受持を擔當せしめ、一齊に修理に着手し、延長二千二百間の道路を立派に修理した。

高知市の街路樹

高知市の追手筋、公園通り、縣廳前の各目抜き通りは立派に鋪装されたので、四月二十八日より、同鋪装道路に青桐の街路樹の植栽に着手したが、四月末日までには全部植栽が終うる豫定である。これが完成した曉には、公園の綠地帯を中心に東南に向け、綠線が放射されるであらう。

九州地方

福岡縣の縣道竣工

福岡縣下に於ける縣道改良工事にして今回竣工したるものは左記の通りである。

(一) 官地・福岡町間縣道 本道路は宗像郡津屋崎町字宮地・福岡間の模範縣道にして、昭和八年三月起工し、爾來銳意改良

工作を急いでゐたものであるが、今回見事に竣工したので、四月十一日盛大なる竣工式が舉行された。

(二) 比良格・三木奈村間縣道 本道路は、朝倉郡宮野村比良松より三奈木村に至る延長二千三百メートル、幅員三メートル道路にして、農村振興事業として總工費二萬圓を投じて工事中のところ今回見事に竣工したので、四月十二日盛大なる竣工式が舉行された。

福岡縣大牟田市の道路網

福岡縣大牟田市では、昭和六、七兩年度に總工費二十五萬六千圓を投じて幹線道路七本を新設したが、これと連路する鋪装道路が未完成のために實際の効用が薄弱であるので、今回五萬五千三十圓を投じて、幹線道路を生かす補助道路の新設並に擴張を計畫し、實測にとりかゝつたが、その補助道路は左記の通りであるが、これが完成したならば、石炭の都である大牟田市の道路

網は完備するであらふ。

- 本町六丁目・本町五丁目線擴張 (工費五千八百圓) ▲八尻町平原町線新設 (工費五千五百十三圓) ▲不知火町二丁目賣坂町一丁目線新設 (工費七千六百十圓) ▲新地町小濱町線新設 (工費六千五百十四圓) ▲一本町山上町線新設 (工費四千五百九十六圓) ▲上官町二丁目一浦町線新設 (工費三千四百十五圓) ▲橋口町西有明町線一部擴張 (工費二千八百五十四圓) ▲築町住吉町線延長 (工費千九百五十三圓) ▲中町二丁目明治町一丁目線延長 (工費二千八百八十一圓) ▲磯内畑畑線擴張 (工費五千八百六十四圓) ▲高砂町三川町三丁目線擴張 (工費五千三百三十二圓) ▲中島町地内排水土管埋設 (工費三千七十四圓) ▲一浦町地内排水土管埋設 (工費千六百六十四圓)

宮崎縣の參拜道路

神武天皇御東遷記念二千六百年祭を迎へ

光彩を放つてゐる宮崎縣西諸縣郡高原村王子原では、兼ねてより、狭野神社から王子原までの参拜道路の改良工事を急いでゐたが、今回見事に竣工したので、四月二十九日盛大なる竣工式が舉行された。

鹿兒島市の新道路網計畫

鹿兒島市の本年度失業救済事業は、總工費二十萬八千九百六十圓（勞務費八萬二千八百十五圓四十七錢、使用労働者延人員七萬五千二人）を投じて、同市の街路の改良を行ふ計畫であるが、その改良工事は新設道路二線、舗装道路七線であるが、南林寺町から住宅地温泉街として發展しつゝある天保山に至る幅員十八米、延長九百二十米のモダン大道路、更に兩所を繋ぐ天保山大橋の實現は、市南方の發展を助けるものがあり、また市多年の要望であつた城山登山道路の前提として新設自動車道路の實現の計畫がある。舗装道路七線は御着屋通―天文館通、天神馬場通―照國神社前國道、石燈

籠電停―ボサド舗装道路、石燈籠電停―西本願寺前、野來町電停―西本願寺前、石燈籠電停―朝日通、縣廳角―棧橋通である。なほ一昨年以來の應急事業に次いで更に本年度事業が實現の曉には大鹿兒島市建設の主要道路網は一先づ完成することとなる。

朝鮮地方

慶南中部の道路品評會

慶南中部道路交通協會では、道路の改善發達を目的として馬山府並に統營、固城、昌原、成安の一府四郡聯合の第一回道路品評會を四月二十日より開いた。

審査員一行は自動車を驅つて、四月二十日統營郡を振り出しに豫定のコースを辿り二十四日まで連日區域内の道路を詳細に檢分し二十四日午後四時馬山に歸着審査を終了したが此の種の試みは慶南中部に於ては最初の試みであつたため、参加府郡は何れも優勝を期し、一入管内道路の整備力に盡

したので何れも相當の成績を擧げてゐた。

臺灣地方

臺南清水町の道路舗装

臺南清水町では、總工費一萬一千三百圓を投じて、州廳前より壽町踏切まで延長四千九百メートルの街路の高級舗装を爲すことに決定したので、五月中旬起工し、六月末日までに竣工さす豫定である。

臺中州の濁水橋の竣工

臺中州新高郡集々庄の重鋼索の吊橋は、總工費十四萬五千圓を投じて昭和七年九月起工し、爾來銳意工作を急いでゐたが、四月十日見事に竣工した。

同橋は濁水橋と命名されたが、延長四百四十一メートル、幅員三・六メートルにして堂々たる鐵鋼橋である。尙ほ、同工事に使用されたる従業員の總人員は三萬二千四百五十八人の由である。